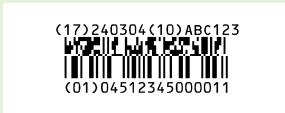


GS1標準データキャリア 一覧

名称	エンコード方式*	イメージ	主な表示対象	エンコードできる情報	特徴
一次元シンボル レーザースキャナでもイメージスキャナでも読み取ることができる。					
JANシンボル	プレーンシンタックス		 消費者購入単位の商品	標準タイプ：GTIN-13 短縮タイプ：GTIN-8	国内外で広く活用されている。
ITFシンボル			 企業間取引単位の商品	GTINのみ	国内外の物流分野で広く活用されている。
GS1-128シンボル	GS1 element string シンタックス		 企業間取引 単位の商品  医療用医薬品  医療機器  通い容器  資産	GS1識別コード 属性情報	国内外で広く活用されている。
GS1データバー			 医療用医薬品  消費者購入単位の商品	GTIN+属性情報** **属性情報を表示できるのは 拡張型・拡張多層型に限る	国内：医療用医薬品で活用。 海外：POSで読み取る不定買商品で活用。
二次元シンボル 読み取りにはイメージスキャナが必要（レーザースキャナでは読取不可）。一次元シンボルに比べて同じ量のデータをコンパクトに表示することができ、汚れやしわに強い。					
合成シンボル	GS1 element string シンタックス		 医療用医薬品	GTIN+属性情報	国内の医療用医薬品で活用。
GS1 データマトリックス			 消費者購入 単位の商品  企業間取引 単位の商品  医療機器  通い容器  資産	GS1識別コード 属性情報	海外ではヘルスケアやPOSレジを通す商品 など広い分野での活用が拡大している。
GS1 QRコード			 原材料・資材  企業間取引単位の商品	GS1識別コード 属性情報	国内の原材料や集合包装単位などへの 表示が始まっている。
データマトリックス	GS1 Digital Link URI シンタックス		 消費者購入単位の商品	GS1識別コード 属性情報	POSレジで読み取る商品で活用。 主に、スマホ等のモバイル端末を通じた情報 提供で利用。
QRコード			 消費者購入単位の商品	GS1識別コード 属性情報	
電子タグ 読み取りにはRFIDリーダーが必要。バーコードに比べてランニングコストがかかる場合が多く、水と金属に弱い傾向にあるが、非接触で一括読取できるという特長がある。					
RFID	EPCタグ・データ標準の バイナリシンタックス		 通い容器  アパレル	GS1識別コード 属性情報	アパレル分野や通い容器、一部食品で 活用されている。

*GS1標準データキャリアのエンコード方式

プレーンシntaxス	数字のみをエンコードする。シンボルにより、エンコード出来る桁数が決まっている。
GS1 element string シntaxス	GS1アプリケーション識別子を使って情報をエンコードする。 データの冒頭にはそのシンボルがGS1標準であることを示す制御記号を挿入する。
GS1 Digital Link URIシntaxス	GS1アプリケーション識別子を使って情報をエンコードする。 Webで直接閲覧できる形式(URI)で表現。
EPCタグ・データ標準のバイナリシntaxス	RFID／電子タグにGS1標準で情報をエンコードする際に使用する。

参考資料

GS1標準バーコード ベーシックガイド		ヘルスケア分野 医療機関向け GS1標準 技術標準書	
食品原材料・資材分野 原材料識別のための バーコードガイドライン		加工食品等の集合包装分野 ケース単位への日付情報等の バーコード表示ガイドライン	



GS1 Japan
ソリューション第1部
グロサリー業界グループ
aidc@gs1jp.org
www.gs1jp.org